

平成30年度 全会計決算は 1兆6780億7800万円に

令和元年9月市会では、平成30年度の京都市決算に
関して連日審議をしまし
た。私たち自民党京都市会
議員団は、前年度に実施さ
れた事業を慎重に検証し、
未来の京都市政に活かすべ
く、徹底的に議論を行いま
した。

まず、一般会計の決算
は約4億円の黒字となりま
したが、個人市民税や法人
市民税の増等により収収が

増加した一方で、相次いだ
災害の復旧・支援に多額の
経費を要し、公債償還基金
(将来の借入金返済に充てるべ
き積立金)を67億円も取り
崩しており、依然として大
変厳しい財政状況であるこ
とを改めて認識したところ
です。そのような中で、私
たちの徹底的な議論、提言
のうえ、昨年10月から導入
された「宿泊税」等を活用
し、市民生活と観光との調

和を図り、都市魅力の向上
に資する事業が推進されま
した。議員団としては、公
債償還基金の取り崩しによ
る財源補てんを改善し持続
可能な財政運営の確立を目
指していきます。

現在仮移転中の本会議場

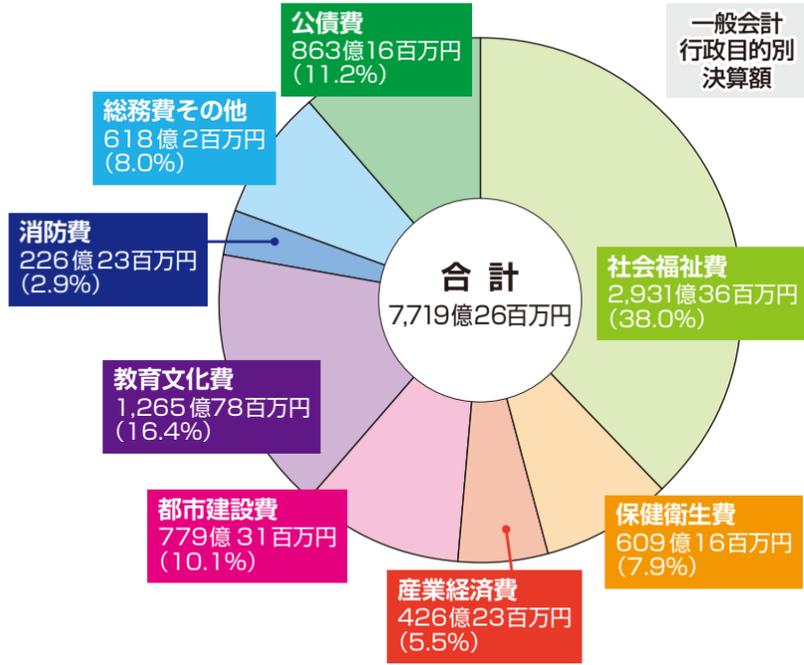


自民党 京都市会議員団 ニュース

令和元年(2019)11月10日発行

■発行人/橋村芳和
■編集委員/森田守、加藤昌洋、平山たかお
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.65



歳入総額	7,751億64百万円
歳出総額	7,719億26百万円
歳入歳出差引額	32億38百万円
翌年度に繰り越すべき財源	28億74百万円
実質収支	3億64百万円
単年度収支	△15百万円

国民健康保険事業	1,449億74百万円
介護保険事業	1,381億32百万円
後期高齢者医療	192億95百万円
市公債	3,389億2百万円
その他	175億46百万円
特別会計合計	6,588億48百万円

水道事業	528億65百万円
公共下水道事業	946億83百万円
自動車運送事業(市バス)	227億97百万円
高速鉄道事業(地下鉄)	769億59百万円
公営企業会計合計	2,473億4百万円

*百万円未満を端数処理しているため、合計の一致しない箇所があります。

手不足、軽油価格の上昇、
地下鉄事業における多額の
企業債残高、水需要の減少
などを抱えているため、今
後の経営環境は厳しいと見
通されます。

京都市の財政状況は大変
厳しい状況にありますが、
一部の方がおっしゃられる
ような、「身を切る」や「な
んでもあかん」とする風潮
に流されることなく、市民
生活を守る事業をしつかり
と推進するとともに、未来
への投資も怠らないことが
肝要であります。正に持続
可能な京都市政となるよう
に、引き続き、責任政党自
民党京都市会議員団は頑
張って参ります。

9月市会の 補正予算 総額 39億1,700万円

9月市会では、高齢者
の在宅介護支援・健康増進
策や昨年の災害に対する支
援のほか、京都市内で実
施する東京2020オリン
ピック聖火リレー事業など
のための補正予算案(総額
39億1700万円)を可決
しました。

その中で、令和元年度の
議員報酬10%カットで生じ
た財源について、補正予算
で提案された昨年度発生し
た台風21号等により被災し
た住宅の再建等の助成の一
部に活用し、市の貯金であ
る財政調整基金の取崩し額
を縮小することとしました。

一般会計		補正予算で実施する事業		補正予算の財源	
被災者住宅再建等支援補助	9億36百万円	64百万円	議員報酬1割カット	8億72百万円	財政調整基金
マイナンバーカードを活用した消費活性化策の準備	58百万円	58百万円	国庫支出金	97百万円	府支出金
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設準備助成	14百万円	4億32百万円	財産収入	14百万円	繰入金
介護老人保健施設の移転改築準備助成	83百万円	削減した議員報酬	64百万円		
スポーツ振興基金への積立て	4億32百万円				
東京2020オリンピック聖火リレー事業	14百万円				

特別会計		補正予算で実施する事業		補正予算の財源	
フレイル対策モデル事業(介護保険)	9百万円	9百万円	諸収入(介護保険事業)	11億25百万円	繰入金(市公債)
府支出金返還金(第二市場)	1億21百万円	1億21百万円	諸収入(中央卸売市場第二市場)	11億25百万円	
京都府国民健康保険財政安定化基金事業貸付金償還金(国民健康保険)	11億25百万円	11億25百万円	繰越金(国民健康保険事業)		
			繰入金(市公債)		

観光施策は市民生活との調和を

市民と観光の安心・安全

市民生活を脅かす施設排除へ

●上京区

寺田一博議員

■寺田一博議員（質問）市民生活と調和した持続可能な観光を進めるに当たり、市内には密集市街地も多く、不特定の方の出入りによる防火、防災の観点からも市民の皆さまと観光に訪れる皆さん双方が活き活きと暮らせる街・京都のために、宿泊施設の現状に関する認識と今後の宿泊観光の方向性についてお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）「京都は観光のためにつくられた都市ではない」私はこれまでから繰り返し、そう申し上げて

●寺田一博議員の質問項目●

- 1 平成30年度一般会計決算の総括について
- 2 市民生活と調和した持続可能な観光について
- 3 「京都カード」の創設と公共交通の利便性向上について
- 4 次世代に向けたエネルギー政策について
- 5 西陣活性化への取組と支援について

まいりました。寺田議員ご指摘のとおり、市民生活との調和や、市民と観光の安心安全を最優先とし、地域の活性化や京都の文化の継承につながる施設は歓迎しますが、そうでない施設は控えていただきたいと思えます。

市バス乗継利便向上「京都カード」創設へ

■寺田一博議員（質問）市内での市バスの混雑対策にも一定時間内に同金額で乗継ぎを可能とすることにより利便性を向上させ、その上で京都市内の様々な施設での割引や、地元商店街の活性化など可能性は拡がり、利用者

の大きな場面での利便性向上や、ビッグデータの政策立案への活用について、今後、幹部職員で構成される庁内横断的なワーキング組織を設置し、公共交通の利便性向上はもとより、市民生活の利便性向上等、さらには財政面も含めた持続可能性など、あらゆる観点から精力的に検討を行ってまいります。

西陣ブランディングへ地域の協力を

■寺田一博議員（質問）生まれ育った西陣の街の活性化が不可欠だと思ひ提言しましたが、このプロジェクトの成否は、西陣地域の理解と協力、そして西陣ブランドの確立に掛かっていると思ひます。今



「西陣文化のスタートアップスタジアム構想」の拠点とするための準備が進む元大宮消防出張所

後、できるだけ早期に、地域の内外に向けてこのプロジェクトの取組をわかりやすく魅力的に発信していくことが重要であると思ひます。今後の展開についてお答えください。

■門川大作市長（答弁） 伝統

文化と都市基盤・輝く南区へ

基本構想の実現に向けて

京都駅東南部エリアも文化基盤の暮らし活性化

●南区

しまもと京司議員

■しまもと京司議員（質問）京都市のあらゆる政策の最上位理念である「世界文化自由都市宣言」から40年が経過し世界的な重要性が更に高まっています。この意義を市民と

しっかりと共有して国内外に発信すべく、今後の主要施策となる次期京都市基本計画を策定しなければならぬと考へますが、この方針と方向性についてのお考えと見解をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁） 京都

の都市格の象徴ともいえるこの宣言を骨格にして、様々な市民参加事業も展開し、世界を見据えて「文化を基軸とした」令和の時代の京都策を練り上げてまいります。

の技術やデザイン、それを育んできた豊かな感性等、西陣の多彩な魅力・資源をつなぎそこに新たな担い手や知恵を融合させて、新たなものづくりをはじめ、様々な変化を生み出し未来の西陣の価値を創造していく精神で「活性化ビジョン」を策定しました。世界をワクワクさせ、西陣ブランドの向上につながるような発信を展開し、また拠点として私も元大宮消防出張所が最適と考へています。

してきた西大路駅のバリアフリー化について基本構想策定連絡会議が設置され、まずは西大路通を縦断する全ての線路を跨ぐ北側にバリアフリーの新駅舎を新設していただくこととなりましたが、その後もしっかりと現南側駅舎のバリアフリー化を目指した地域全体と人々の利便性・安全性・活性化が図られる構想・整備となるようお願いいたします。

上鳥羽向日町線道路駅東口まちづくり基盤

■しまもと京司議員（質問）私どもの取組により向日町駅東口とともに都市計画道路の延伸も決定し完成目標も10年後とさせていただいていますが、更に早期の合理的な整備効果

早期に事業効果が発揮できるよう、しまもと議員の御指摘を踏まえ、JR向日町駅東側の整備事業としっかりと連携を図り京都南部地域の発展と相乗効果で積極・計画的な土地利用誘導も強力に推進してまいります。

■しまもと京司議員（要望）

長年の要望活動と取組に邁進

●しまもと京司議員の質問項目●

- 1 世界文化自由都市宣言40年における京都市総合計画
- 2 北陸新幹線の京都ルート延伸に対する市の取組
- 3 日本MICE振興のための国立京都国際会館の拡張
- 4 暮らしと安全、未来を支える本市投票率の向上の取組
- 5 大規模自然災害から命と全市を守る京都の山林・環境
- 6 上鳥羽向日町線道路・向日町駅東口とまちづくり基盤
- 7 西大路駅バリアフリー化で利便性と地域活性化（要望）
- 8 新南区役所庁舎整備の具体的方針と早期実現（要望）

西大路駅のバリアフリー化新南区役所庁舎も早期に

■しまもと京司議員（要望）



実現化することとなった西大路駅のバリアフリー駅舎図面

討が始められ将来像が地元でとりまとめられましたが、具体的な施設の性格や規模、場所等々についてしっかりと検討し、より利便性も高く文化的なものとなるよう極力早期の実現を強く求めます。

【代表質問】9月市会（9月30日）

ひきこもりに寄り添う支援を

来年には相談窓口一本化

支援の拡充を 切れ目のない支援へ

●中京区 加藤昌洋議員

■加藤昌洋議員（質問）ひきこもりの方の支援ニーズは潜在化しやすく、年齢を問わず、一人一人に寄り添った形での相談支援を展開していかねばなりません。京都市において、まずは相談窓口の一元化に取り組んでいかなければならないと考えますが、いかがでしょうか。また、ひきこもりの相談窓口を再編し、御提案のとおり、相談窓口を来年度早期に一元化できるよう取り組んでまいります。更に、社会福祉全般に関する事項を御議論いただき京都市社会福祉審議会に専門分科会を早期に設置し、専門家の御意見を伺いながら、御本人と御家族に寄り添った息の長い総合的な支援が実現できる方策を検討し、迅速かつ計画的に実施してまいります。

こもり支援について、更なる取組が必要ではないかと考えます。今後のひきこもり支援の充実に向けた市長の決意をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）法律や施策ごとに分かれているひきこもりの相談窓口を再編し、御提案のとおり、相談窓口を来年度早期に一元化できるよう取り組んでまいります。更に、社会福祉全般に関する事項を御議論いただき京都市社会福祉審議会に専門分科会を早期に設置し、専門家の御意見を伺いながら、御本人と御家族に寄り添った息の長い総合的な支援が実現できる方策を検討し、迅速かつ計画的に実施してまいります。

●加藤昌洋議員の質問項目●

- 1 今後の小中一貫教育の在り方について
- 2 スポーツ施設整備の在り方について
- 3 プラスチックの資源循環の取組について
- 4 ひきこもり支援の切れ目のない対応について
- 5 防災や災害対応における保険分野の民間事業者との包括連携協定締結の検討について
- 6 円町駅周辺のまちづくりについて（要望）
- 7 元植柳小学校跡地活用に係る避難所の確保について（要望）

「見る」スポーツ 官民協力で整備を

■加藤昌洋議員（質問）「見るスポーツ」においては市民がスポーツを生涯にわたって十分楽しめる場所と施設の確保を目指して整備方針を立て、

「見るスポーツ」においては、施設をコストセンターと考えるのではなく、プロフィットセンターとして官民共同で整備の見直しを立てていく必要があると考えますが、いかがですか。お考えをお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）「見るスポーツ」では、計画的に、たけびスタジアム京都等の



西京極総合運動公園（陸上競技場兼球技場）

具合が生じる前に改修に取り組みます。また、来年度の「京都市民スポーツ振興計画」の見直しにおいて、市民や競技団体等のニーズを把握し、施設の整備方針について検討を深めます。「みるスポーツ」においては、観戦環境の向上に向けて、たけびスタジアム京都の改修・充実を、ネーミングライツ収入も活用し着実に進めてまいります。官民共同による整備については、様々な知見を活かして検討を重ね、用地や収益性などの課題を乗り越えていけるよう取り組みます。

嵯峨嵐山地域の景観保全

地元の自助努力に感謝

渡月橋木製欄干と治水に万全を

●右京区 井上よしひろ議員

■井上よしひろ議員（質問）嵯峨嵐山地域は、地域固有の自然景観を守るため、古都保存法に基づき歴史的風土特別保存地区に指定されています。しかしそれだけで守られるものではなく、地元の方々

が自ら守っていくことと取り組まれてきたことが大きな要因

です。

■門川大作市長（答弁）地域の皆様のご尽力があつてこそ、嵯峨嵐山地域の素晴らしい景観は大切に守られ、最近では竹チップの肥料化等の新たな取組も広がり、美しい竹林の

整備維持にもつながると期待しています。

●井上よしひろ議員の質問項目●

- 1 公営企業（上下水道、市バス・地下鉄）決算について
- 2 市バスのバス待ち環境の向上について
- 3 児童館・学童保育所職員の働き方改革と職員の資質向上について
- 4 嵯峨嵐山地域の景観保全と地域活性化について
- 5 稲作農家の振興とため池の管理・運用について
- 6 亜臨界水処理技術の導入に向けた研究・検討について（要望）

児童館・学童クラブ 働き方改革推進を

■井上よしひろ議員（質問）平成27年度からの対象年齢の拡大に伴い、児童館・学童保育所職員の業務量は増加傾向



北嵯峨の田園風景

向にあり、児童館に6年勤めた私の経験からもその増加は実感しています。職場マネジメントの状況や超過勤務の支給実態を把握し、職員の意識改革を促したり、業務の在り方を改善するためのルールを確立するなど、働く環境の充実に向け、より一層努めるべきであると考えますが、いかがですか。

また、喫緊の課題である児童館職員の不適切事案の再発防止、資質向上の取組をお聞かせ下さい。

■村上圭子副市長（答弁）学童クラブ事業については、8年連続の待機児童ゼロの達成、新制度以降に約6億円の本市独自財源を投入した基本給の増改定や経験手当の創設など、量の充実と質の向上に取り組んでまいります。井上議員御指摘の働き方改革の取組を加速するため、職場マネジメントや勤務状況等の実態調査に着手し、必要な取組を進めてまいります。

今後、児童館で不適切な事案を二度と発生させないため、職員の研修等を継続実施するとともに厳正な監査により適正な運営を確保してまいります。

令和2年度 予算・市政 方針に要望

令和の時代に光り輝く京都のまちづくりを

自由民主党京都市議員団は、令和2年度に向け、市長に対して予算及び市政に関する要望を提出しました。

我が会派は要望の中で、まず、アベノミクスや東京オリンピック・パラリンピック等により好景気が続く一方で、今後の京都市においても人口減少や超高齢社会の進展による社会保障問題や地球環境の変化による自然災害の多発、インフラ老朽化の対応などといった課題に対応する必要があることを指摘しました。

そういった状況を踏まえ、将来世代に対して責任を持った持続可能なまちづくりを行うため、第一に安定した財政を確立することを求めました。具体的には、特別の財源策と言われる「公債償還基金の取り崩し」から脱却するため、更なる効率的な行政運営を行うことや税収増に向けた市内産業の活性化への取組を行ったうえで、国に対しても地方財政制度の制度改善を主張することを求めました。

今回の要望では、これまで市民の皆様から頂いた声をもとに様々な課題を精査し、

我々が考える京都市のあるべき姿を7つの分野（左表参照）として設定し、何の為に予算であるのか、だれのための予算であるのかを明確にし、京都市当局とも共有できるように取り組みました。

令和の時代においても京都市が輝き続け、市民にとっても、訪れる人にとってもより良いまちであり続けられるよう、自民党は、2月の予算議会に向け議論を行ってまいります。

- 一. 都市格の向上 ~魅せる千年の悠久の都~
- 二. 強い経済 ~本格的な成長戦略へ~
- 三. 誰もが安心、活躍する人生100年社会へ
- 四. 正しい心と確かな学力
- 五. 最先端をいく元気な京都を創生
- 六. 災害から命と暮らしを守る
- 七. 二元代表制のもと、議会と更なる信頼関係の構築

責任政党自民党!! 地域課題解決のために日々走っています!!

市民の皆様の思いをカタチに!! 自民党京都市議員団では、令和2年度に向けて行政区ごとに地域の実情に応じた予算要望を行いました。そのうちの一部を行政区別に紹介します。

南区

- ・陶化小や塔南高、水道局ほか市有地活用で文化的な地域活性
- ・西大路駅バリアフリーと周辺地域の安全対策
- ・八条通や十条通、向日町上烏羽線など交通不便地域のバス充実

など **しまもと京司 椋田隆知**

上京区

- ・京都御苑周辺の転落防止策など引き続きの安全対策と都市格が高まるような取組の推進
- ・西陣活性化政策について地域の皆さんとの十分な協議と有効な事業の推進

など **寺田一博 中村三之助**

右京区

井上よしひろ 森田守 田中たかのり

- ・阪急西院駅周辺道路のバリアフリー化の推進
- ・七条通を含む都市計画道路・災害時危険な道路等の整備
- ・災害時等、山間地道路の通行確保のため通年で道路際樹木の除去

など

左京区

- ・近年多発する激甚災害に備えた左京区の、安心安全のまちづくり
- ・継続的なご要望のある、地下鉄国際会館駅前整備の推進
- ・児童館や学童保育における、子育て支援の充実

など **豊田恵美 さくらい泰広**

西京区

- ・西京区民待望の地下鉄東西線の延伸、若しくはLRT等を運行し、交通網の拡充
- ・市立芸術大学移転跡地活用の公共性の高い施設整備
- ・西陵中学校での小中一貫教育校の創設

など **西村義直 田中明秀**

中京区

- ・先斗町をはじめとした無電柱化計画路線の早期実現
- ・後院通や西高瀬川周辺等の道路環境整備の着実な推進
- ・円町駅周辺の環境変化に合わせたインフラ等の整備

など **加藤昌洋 津田大三**

伏見区

みちはた弘之 橋村芳和 繁隆夫

- ・今後も醍醐コミュニティバスの安定運用に向けた施策の継続
- ・JR 稲荷駅西側改札口の設置とJR・市有地を活用した環境整備
- ・府道三栖向納所線（2段区間）の速やかな改修工事

など

東山区

- ・京阪烏羽街道駅のバリアフリー化の早急な推進
- ・八坂通・茶わん坂など景観、防災の両観点からの無電柱化推進地域の拡大、実行
- ・新橋通など石畳（風）舗装の更なる推進

など **平山たかお**

北区

- ・山間地道路の通行確保のため道路際の樹木除去
- ・御園橋の架け替え工事と上賀茂神社周辺道路整備の更なる推進
- ・原谷地域（M1の北大路ターミナル行き）のバスの早期増便

など **山本恵一**

山科区

- ・バス待ち環境の整備と交通不便地域での更なるバス増便及び新設等
- ・西野道の新十条通以北の早期拡幅整備と新十条通の外環状線以東の早期整備

など **吉井あきら 富きくお**

下京区

- ・稚松公園のマンホール型トイレ等、避難施設機能を備えた公園再整備
- ・JR西大路駅～梅小路公園の魅力ある歩道等の再整備
- ・高瀬川の五条以南（菊浜学区）再整備の継続

など **下村あきら**

自民党京都市議員団
〒604-8571 京都市中京区河原町御池 jim3@nifty.com FAX.257-3091

